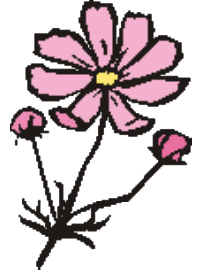




# 希望の花

鶴ヶ島市立西中学校  
学校便り No.5  
令和6年9月30日  
文責 校長・真武公司

ようやく朝晩は秋めいてきました。今年も本当に厳しい暑さが長く続きました。「今年が異常な気温だった」で済めばよいのですが、そうではなさそうな気がします。今年の9月が「今後の普通の9月」になってしまうと、憂鬱でしかたありません。地球に優しいことを地道にやってみましょう。我が家のキンモクセイにつぼみが付き始めました。いつ香りを放ってくれるようになるのでしょうか。



2学期が始まり1ヶ月、順調にスタートが切れています。運動部は新人戦が行われ、生徒会は本部役員選挙がまもなく行われ、世代交代が着々と進んでいます。「もう新入生とは言わせない1年生」「西中の中心となる2年生」「当たり前前の学校・家庭生活を送りつつ進路実現を図る3年生」 2学期の始業式で各学年に話した内容です。それぞれの学年が目指すところに向かい、邁進して行ってほしいものです。

## 合唱で勝つ？

10月26日の合唱コンクールに向けて音楽の授業で準備が進められています。クラスでの取組が始まると、学校のいたるところから歌声が響いてくるようになり、私が1年の中で一番好きな時期になります。



中学生のクラス合唱には不思議な魅力があります。専門の指導者のもと長い時間をかけてみっちり指導され、技術的にも音楽的にも力のある合唱団の歌声よりも、中学生のクラス合唱が人に感動を与えることがよくあります。「ひたむきさ」がそこにあるからだと思っています。指揮者や伴奏者、パートリーダーがみんなの心を一つにまとめようと努力し、意気を感じた仲間たちと一体となって奏でられる各クラスの表現。その「ひたむきさ」が音にのって聴いている人たちの心に届くのだと思います。学級の力が見事なまでに合唱の表現として表れてきます。また、音だけでなく、ひたむきに歌う姿も感動を与える要素の1つです。表情を見ているだけでもその人がどんな歌声なのかが分かるものです。顔の表情だけでなく、体全体からも醸し出されます。

ところで、各クラスの合唱コンクールへの取組の目標は何ですか？ 他のクラスに「勝つ」こと？ 合唱で「勝つ」ってどういうこと？ 体育祭の競技では「タイム」「回数」「力の強さ」などの基準が明らかで、しかも「競技」という字のとおり、競い合うことが本質です。では、芸術を評価するって？

以前、合唱祭にお招きした指導者の先生のお話が印象的だったので、いつもこの時期に紹介しています。

「静岡側の富士山も、山梨側の富士山もどちらも素敵な富士山です。静岡の人、山梨の人は、それぞれ自分たちが見る富士山が日本一だと誇りをもっています。同じ富士山なのに…。今日は、「私が美しい、よい」と感じた富士山（合唱）を入賞としました。違う人が審査に当たれば、違う結果になったかも知れません。ですので、これまで、自分たちが創り上げてきた富士山（合唱）に誇りと自信をもってください。」



合唱コンクールへの取組の最初の動機が「勝つこと」であってもしようがないとは思

ます。しかし、真剣で深い取組が進むと、『合唱の質を高めること』そのものに喜びを感じる」とか「仲間と歌い合わせることが楽しい」、演奏後には「自分たちらしい表現を出し切れたことへの満足感」へと繋がっていくものです。生半可な取組をしていたクラスほど自分たちの合唱に誇りがもてず、最後まで、いや、終わった後までも「勝ち」にこだわり、よくない雰囲気を引きずります。

「学校は仲間とともに学ぶ場所」「学校だからできることを大切にしたい」と私は常々言い続けています。合唱への取組はまさに「仲間がいる学校でなければできない」ものであり、「心を育てる」「集団を育てる」ことに大きく寄与する行事です。今、全国の中学校で、合唱コンクールがまず間違いなくある行事になった要因の1つがそこにあると思います。

## 成績あれこれ

今週末は中間テストです。1学期に実施した「埼玉県学力・学習状況調査結果」「全国学力・学習状況調査結果」と自分の学力の一面を認知できる資料が生徒及び各家庭に戻されます。これらの結果は学力のごく一部を切り取り、しかも、ごく一時期のデータでしかありませんので、その結果だけで一喜一憂する必要はないと思います。ただし、その結果は事実であることは変わらないので一喜一憂して欲しいところでもあります。

さて、テストの成績やIQなどの測ることができる能力（認知能力）に対して、非認知能力が世界的に注目を集めています。非認知能力とは、例えば、「目標に向かって頑張る力」「他の人とうまく関わる力」「感情をコントロールする力」などの内面の力をいいます。これまでも学校教育で大切にしたいと考えてきた力であることがよく分かります。非認知能力が高い人ほど学力向上していることが、県の学力・学習状況調査の結果から明らかになっています。最近の研究で、特に「自制心（感情のコントロール力）」が重要視されているそうです。この「自制心」が人生の成功に与える影響について指摘したのが、コロンビア大学のウォルター・ミCHEL教授の「マシュマロ実験」です。



4歳児にマシュマロを差し出し、「食べてもいいけれども、大人が部屋に戻ってくるまで我慢できれば2つにしてあげます」といって大人は部屋を退出する。そして15分後に大人が部屋に戻ってくるまで待てるのかどうかという実験で、15分間我慢して2つのマシュマロを手に入れられた子どもは全体の約3分の1にとどまった。

驚くべきはこの先の調査で、2つめのマシュマロを手に入れた子どもは、手に入れなかった子どもに比べて、後の学力や収入、健康状態までもが良好で、長期的な目標を設定し、それを追求し、達成することに喜びを感じるような聡明で自立した大人になっていることが分かったのである。



非認知能力は「taught by somebody」（誰かに教わるもの）と言われています。つまり、非認知能力は机に向かって1人で獲得できるようなものではなく、家庭や学校で、親や教師、友人らから「教わって」身に付けるものだということなのです。やはり「仲間とともに学ぶ学校」は大切なのです。

### 10月の主な行事予定

1日(火) 学校朝会  
2日(水) 集金日 金曜日課  
3日(木) 中間テスト(～10/4)  
8日(火) 表彰朝会  
9日(水) 生徒会役員選挙  
10日(木) 3年進路説明会  
11日(金) 3年実力テスト  
15日(火) 校内授業研究会(3-1以外4時間授業)

16日(水) 生徒朝会(引継式) 学級の日  
17日(木) 駅伝予選  
22日(火) 生徒朝会  
23日(水) あいさつ運動 専門委員会  
25日(金) 合唱コンクール準備  
26日(土) 合唱コンクール(弁当なし)  
28日(月) 振替休業日  
29日(火) 月曜日課  
30日(水) 生徒朝会 中央委員会

11月 5日(火)～11日(月) 面談期間